

はじめての歎異抄講座(3)

1. 弥陀の本願

本願：すべてのいのちあるものを必ず救うという誓い。阿弥陀仏の四十八願のなかでも、とくに第十八願を本願という。

<第十八願意識>

わたしが仏になるとき、すべての人々が心から信じて、わたしの国に生れたいと願ひ、わずか十回でも念仏して、もし生れることができないようなら、わたしは決してさとりを開きません。ただし、五逆の罪を犯したり、仏の教えを謗(そ)するものだけは除かれます。

2. 老少善悪のひと

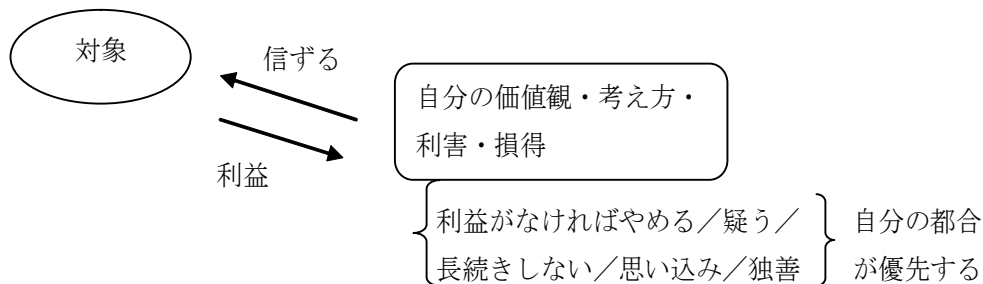
老少、善悪、男女、貧富、貴賤、僧俗、etc.・・・

3. 信心

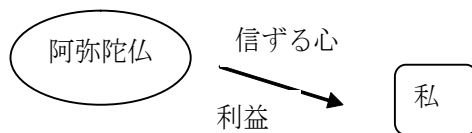
一般にいわれている信心・・・「信心する」「信心が足る」「不信心」

浄土真宗の信心・・・「信心をいただく」「信心を賜る」

1) 一般にいわれている信心



2) 浄土教の信心(親鸞の信心)



・世間心から信心(まことのこころ)へ

4. 罪悪深重・煩惱煩盛

煩惱：心身を煩わせ、悩ませる精神作用の総称。

- 三毒の煩惱
- ・貪欲(とんよく)：むさぼり・我欲
 - ・瞋恚(しんに)：いかり
 - ・愚痴(ぐち)：おろかさ・真理に対する無知